

2019年度 上武大学 大学院 経営管理研究科 シラバス

講義番号	授業科目名	理論経済学特論B		担当教員	星野 為國				
	英語授業科目名	theoretical economics B		単 位	2	学 期	後期		
対象年次	1・2年次	クラス指定		他との関連					
履修条件	特にありません。								
テーマ・副題	近代経済学の諸理論を解説する。								
授業の教育目的・目標	資本主義経済の本質および特徴を理解し、応用できるようになること。								
授業の理解度の到達目標	受講生が資本主義経済の本質を理解し、経済社会の中で活躍できること。								
授業キーワード	国民所得、総消費、完全雇用、景気変動、経済成長								
授業の内容	国民所得を中心にして、雇用、物価、景気変動、経済の成長と発展について解説する。								
授業の方法	講義形式で行う。								
授業展開	<table border="0"> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>1. 国民所得と国富</li> <li>2. 総消費</li> <li>3. 総投資</li> <li>4. 国民所得の決定</li> <li>5. 財政支出の乗数効果</li> <li>6. インフレギャップとデフレギャップ</li> <li>7. 雇用量の決定</li> <li>8. 物価とインフレーション</li> <li>9. インフレーション対策</li> </ul> </td> <td style="vertical-align: top; border-left: 1px dashed black;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>10. 景気変動</li> <li>11. ケインズ以後</li> <li>12. 経済成長</li> <li>13. 技術進歩</li> <li>14. 資本蓄積</li> <li>15. ケインズの資本主義将来観</li> </ul> </td> </tr> </table>							<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 国民所得と国富</li> <li>2. 総消費</li> <li>3. 総投資</li> <li>4. 国民所得の決定</li> <li>5. 財政支出の乗数効果</li> <li>6. インフレギャップとデフレギャップ</li> <li>7. 雇用量の決定</li> <li>8. 物価とインフレーション</li> <li>9. インフレーション対策</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>10. 景気変動</li> <li>11. ケインズ以後</li> <li>12. 経済成長</li> <li>13. 技術進歩</li> <li>14. 資本蓄積</li> <li>15. ケインズの資本主義将来観</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 国民所得と国富</li> <li>2. 総消費</li> <li>3. 総投資</li> <li>4. 国民所得の決定</li> <li>5. 財政支出の乗数効果</li> <li>6. インフレギャップとデフレギャップ</li> <li>7. 雇用量の決定</li> <li>8. 物価とインフレーション</li> <li>9. インフレーション対策</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>10. 景気変動</li> <li>11. ケインズ以後</li> <li>12. 経済成長</li> <li>13. 技術進歩</li> <li>14. 資本蓄積</li> <li>15. ケインズの資本主義将来観</li> </ul>								
成績評価方法	講義への参加状況 40%、レポート 60%								
成績評価基準	最終評価において 100点～80点がA 79点～70点がB 69点～60点がC 59点以下をDとし、不合格となる。								
テキスト	授業中に指示する。								
参考図書	授業中に随時指示する。								
準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な学習内容	授業を受ける前に 30分以上の予習を行うこと。授業を受けてから 1時間以上の復習をし、紹介された文献は必ず一読すること。								
学生へのメッセージ	経済学の諸理論を理解することはご自身の研究に有益である。								
オフィスアワー	火曜日 2限研究室 木曜日 3限大学院 (6階) 自習室								
連絡先	電話番号	0270-32-1011 (研究室)		メールアドレス	hoshino@jobu.ac.jp				
人数制限	なし								